

岩手山

○概況

火山活動は穏やかに経過しました。

- ・岩手山の山体の火山性地震は、少ない状態が続いています。
- ・火山性微動は観測されませんでした。
- ・黒倉山山頂の噴気は、高さ 30m 以下で低調な状態が続いています。

地震活動の状況

火山性地震は 73 回観測されました（7 月 79 回）。岩手山山体の浅い地震の回数は少ない状態が続いています。

・東岩手山（山頂付近）

山頂東側の海面下 10km 前後が震源と思われる低周波地震は 32 回観測されましたが、全て振幅の小さい微小な地震で、震源が精度良く求まる地震はありませんでした。

また、浅い所を震源とする高周波地震は、少ない状態が続いています。

・西岩手山（大地獄火口～姥倉山）

火山性地震は少ない状態が続いています。

・岩手山西側

1998 年に岩手山の火山活動が活発化する以前から地震活動のある滝ノ上付近では、規模の小さな地震が数十回発生しています。震源などこれまでと大きな変化はなく、地震活動は低調な状態が続いています。

- ・火山性微動は観測されませんでした。

噴気活動等の状況

遠望観測（監視カメラ）では、黒倉山山頂の噴気の高さは 30m 以下で低調な状態が続いています。



岩手山火山観測点配置図

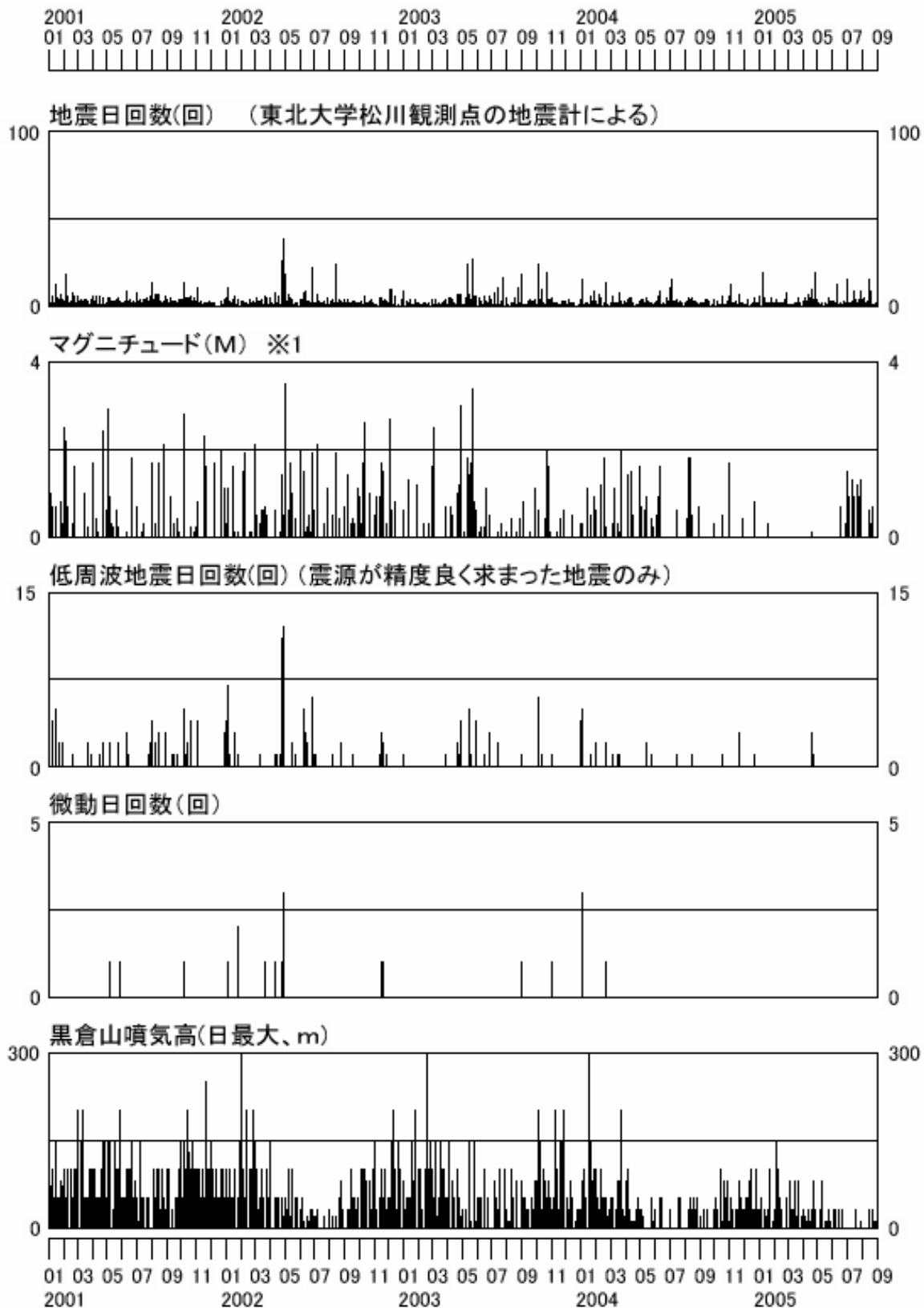
東岩手山（岩手山東側～山頂、鬼ヶ城付近）

西岩手山（大地獄谷～黒倉・姥倉・犬倉山）

岩手山西側（小松倉～三ツ石山、滝ノ上付近）

岩手山 活動一覧

2001/01/01～2005/08/31



1 弘前大学、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。